

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	退院時減薬が実施された患者を対象とした内服薬数の推移の調査
研究責任者	聖隷浜松病院 薬剤部 犬飼康子
研究実施体制	聖隷浜松病院 薬剤部
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 から 2021年 3月
対象者	2018年5月から2019年4月までの間に聖隷浜松病院に入院し、6種類以上の内服薬を持参され、持参薬エディタに入力されたもののうち、医師によって「中止する」指示が2種類以上入力され、期間内に2回以上入院した患者さん
研究の意義・目的	2016年より不適切な多剤投薬(ポリファーマシー)を是正する目的で「入院前に6種類以上の内服薬」が処方されている患者に対して、「退院時に2種類以上減薬」した場合に「薬剤総合評価調整加算(250点)」を退院時に1回加算することが可能となりました。この加算により、多くの病院で病院薬剤師が患者の入院時に持参薬の内容を評価し、退院時に内服薬を減少させる取り組みを行っています。しかし、退院してから減薬した状態が継続的に保たれているか調査された実績は未だありません。そこで、聖隷浜松病院を退院する時に6種類以上の持参薬から2剤以上中止して退院された患者を対象に、退院後も減薬が継続されているか、増薬になっている場合はその理由と因子、また薬剤の種類について調査を行います。
研究の方法	対象患者について、診療録から以下の項目の調査を行います。 ・患者基本情報 年齢、身長、体重、体表面積、BMI、性別、生活環境(独居か否か)、疾患名、臨床検査値(白血球数、好中球数、血小板数、血色素量、リンパ球数、単球数、血清アルブミン値、ビリルビン値、AST値、ALT値、LDH値、ALP値、血清尿素窒素値、血清クレアチニン値、eGFR、CRP、血清ナトリウム値、血清カルシウム値、血清カリウム値、血清リン値、血清塩化物イオン値、血糖値、HbA1c値、総タンパク値) ・薬剤師初回面談記録より「常用薬の有無」、「調剤上の工夫」、「投与経路・剤形が適正であるか」、「相互作用/重複投与/用法用量が適正であるか」、「薬の管理状況(自己管理、他者の支援、退院後の薬の管理、かかりつけ薬局)」、「お薬手帳の有無」、「入院目的」を調査 ・薬剤情報 持参薬(錠数、薬効・種類)、薬剤変更の理由
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただ

	くことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 薬剤部 犬飼康子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日